

維持工事をプロが撮影

26日から31日までの6日間、福島市のふくしんギャラリーで、写真家の山崎エリナ氏が維持管理工事等の現場を撮影した作品を一堂に集めた「インフラメンテナンス写真展」を開かれる。28日には山崎氏と詩人の和合亮一氏、映像プロデューサーの浅尾芳宣福島ガイナックス社長のトークショーを行い、プロの視点から建設業の情報発信についてアドバイスする。

一般市民に、社会生活や経済活動を支えるインフラのメンテナンス管理の重要性を発信する取り組みの一環として、寿建設（森崎英五朗代表取締役社長）が企画した。インフラメンテナンス国民会議などが協力。東北地方整備局福島河川国道事務所、県、福

26
〜
31日まで写真展

インフラメンテナンス

福島建設が

島市、県建設業協会、福島建設工業新聞社が後援している。

山崎氏は世界の第一線で活躍するプロカメラマン。昨年10月から月1回程度のペースで来県し、プロの視点から寿建設が施工する道路維持管理工事、橋梁補修工事等の現場や、そこで働く従業員等の姿を写真に収めてきた。

写真展では、その中から選りすぐりの作品を一般に公開する。日本大学工学部のインフラメンテナンスに関する取り組みもパネル展示する。

トークショーは28日午前11時から山崎氏と和合氏、午後1時半から山崎氏と浅尾社長が「表現者たちと語る、建設業の伝え方」をテーマに語り合う。

写真展の開催時間は午前9時～午後5時。入場無料。トークショーは先着順で着席でき、それ以上は立ち見となる。



撮影・山崎エリナ氏

7月23日 福島建設工業新聞

寿建設（福島市、森崎英五朗社長）は26日から31日まで、福島市内の福島信用金庫・ふくしんギャラリーで、国際的に活躍する写真家の山崎エリナ氏が撮影したメンテナンス現場の写真を展示する「インフラメンテナンス写真展」を開く。プロの写真家が撮影した補修現場の写真展は全国でも初めての試みという。

寿建設がインフラメンテ写真展

福島市で26日から

プロが撮影、技能者の姿にスポット

社会・経済活動を支えるインフラを維持するために不可欠なメンテナンスの重要性を広く一般にアピールするとともに、建設産業の中でも陰に隠れがちなメンテナンス分野にスポットを当てることで、今後の人材確保につなげるのが狙い。

会場には、雑誌や広告、映像などさまざまな分野で活躍し、情感的な写真が国内外で高く評価されている山崎氏が、その独自の視点と感性で撮影した、寿建設によるさまざまなメンテナンス工事現場の写真を展示し、いきいきと作業に取り組む技能者の魅力的な姿を発信する。

28日には「表現者たちと語る、建設業の伝え方」と題するトークショーが行われ、午前中は山崎氏と福島県を拠点に活動する詩人の和合亮一氏、午後には山崎氏と映像プロデューサーで福島ガイナックス社長の浅尾芳宣氏が、それぞれ情報発信のあり方について意見を交わす。

7月25日 建設通信新聞

あすからインフラメンテ写真展

寿建設、ふくしんギャラリーで31日まで

寿建設（福島市、森崎英五朗社長）は、26～31日に「インフラメンテナス写真展」を福島信用金庫ふくしんギャラリー（福島市万世町1の2）で開催する。

写真展は、同社が手掛けたトンネル補修、橋梁補修、国道除草、舗装補修、除雪などを写真家の山崎エリナ氏が撮影した作品を通し、インフラメンテナスという将来の課題を一般市民に紹介するのが目的。

28日には詩人の和合亮一氏とアニメ制作会社の福島ガイナーナックス社長、映像プロデューサーの浅尾芳宣氏を招き、「表現者たちと語る、建設業の伝え方」をテーマにトークショーを予定している。

また、日本大学工学部が手掛けているインフラメンテナスの現場で生き生きと作業する姿を紹介できる機会になる」と語っている。

開催時間は午前9時から午後5時まで。入場無料。トークショーについては先着順の着席、満席まで。

森崎社長は「社会生活や経済活動を支えるインフラは、日々の管理によって維持されるが、何事もなくて当たり前前の仕事から毎月のように現場に通い、工事現場を撮って下さった。さまざまなメンテナスの現場で生き生きと作業する姿を紹介できる機会になる」と語っている。

イベントに関する問い合わせは寿建設（電話024・543・0511）まで。

7月25日 日刊建設工業新聞

道路や橋の補修建設現場を写す

福島31日まで写真展

福島市の寿建設（森崎英五朗社長）は26日から、福島市のふくしんギャラリーで「インフラメンテナス



来場を呼び掛ける山崎さん

写真展」を開いている。国内外で活動する写真家山崎エリナさんが同社の工事現場や作業員を撮影した作品約30点が並んでいる。31日まで。入場無料。

道路などのインフラを維持するメンテナス管理や、建設業界の仕事を見てもらおうと企画した。撮影を依頼された山崎さんは昨年、何度も工事現場に足を運んで撮影してきた。会場には、道路やトンネル、橋の補修の様子の写真が並んでいる。

森崎社長は「工事現場で生き生きと作業する姿を見てほしい」、山崎さんは「安全・安心を守る建設業を多くの人に知ってほしい」と語った。時間は午前9時から午後5時。

28日には同会場で山崎さんとゲストのトークショーが開かれる。午前11時から詩人 和合亮一さん、午後1時30分から福島ガイナーナックスの浅尾芳宣社長が出演する。

7月27日 福島民友

インフラ補修現場に光

31日まで
福島 写真家山崎さん作品展

インフラメンテナンスの現場に光を当てて写真展が二十六日、福島市のふくしんギャラリーで始まった。国内外で活躍する写真家山崎エリナさん（神戸市出身）が県内の現場に何度も足を運び、撮影した力作の数々が並ぶ。三十一日まで。

市内の寿建設が企画した。インフラメンテナンス国民会議などの協力、国土交通省福島河川国道事務所、県市などの後援。道路、トンネル、橋などの維持補修現場に昨年九月から山崎さんが密着。撮影した約三千枚の写真の中から厳選した三十三点を展示している。山崎さんは「現場の迫力に魅了された。働いている人たちは皆がプロフェッショナル。本当に魅力的な被写体だった」と語った。

寿建設の森崎英五朗社長は「働いている側にとって誇りに思える写真。多くの人に見に来てほしい」と呼び掛けている。

入場無料。時間は午前九時から午後五時まで。

あす対談ショー

二十八日は山崎さんのトークショーを繰り広げる。午前十一時から福島市の詩人和合亮

一さん、午後一時半から福島ガイナックスの浅尾芳宣社長と対談する。

建設業の魅力発信へ

和合さんらがトーク

福島市のふくしんギャラリーで開催中の「インフラメンテナンス写真展」に合わせ、同会場で28日、ト

建設業の伝え方について語ったトークショー



建設業の伝え方について語ったトークショー

クショーが開かれ、写真家の山崎エリナさんらが工事現場の写真を撮影する狙いなどを話した。

午前と午後で約100人が来場。「表現者たちと語

る、建設業の伝え方」がテーマ。午前は詩人和合亮一さん、午後は福島ガイナックスの浅尾芳宣社長が登壇し、建設業の魅力発信などについて語った。

同写真展は寿建設（森崎英五朗社長）の主催。会場には山崎さんが撮影した、同社が請け負っている工事現場の写真約30点が並んでいる。入場無料。時間は午前9時～午後5時。31日まで。

7月27日 福島民報

7月30日 福島民友

対談する山崎さん（左）と和合さん。右は司会の森崎社長



建設現場写真で対談

福島 撮影の裏側など紹介

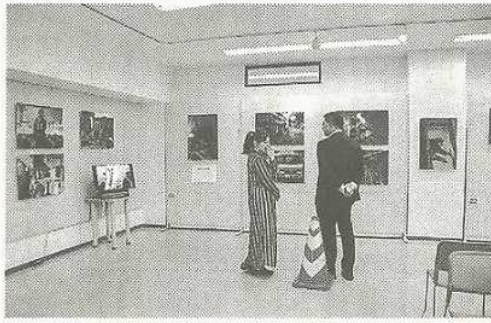
二十六日に福島市のふくしんギャラリーで始まった道路や橋などインフラを維持管理している現場に光を当てた写真展のトークショーが二十八日、同所で開かれた。撮影した写真家山崎エリナさん（神戸市出身）と福島市の詩人和合亮一さんが「表現者たちと語る、建設業の伝え方」をテーマに対談した。市民ら約四十人が参加。主催した市内の寿建設の森崎英五朗社長が司会を務め、撮影の裏側や表現方法、建設業界の現状を語り合った。

山崎さんは対談の中で「道路や橋などは通れることが当たり前だと感じがち。実際の現場では汗水流して仕事に向き合っている方がいて、感動しながらシャッターを切った」と振り返った。和合さんは「働く人の空気感が生き生きと切り取られていてすばらしい」と語った。

引き続き山崎さんと福島ガイナックスの浅尾芳宣社長の対談も行った。

工事携わる人の魅力を

寿建設、インフラ
メンテ写真展



寿建設（福島市、森崎英五朗社長）は26～31日、福島市の福島信用金庫ふくしんギャラリーで「インフラメンテナンス写真展」を開催している。写真展を開催している「写真展」を会社が手掛けるメンテナンス管理の工事現場を、写真家の山崎エリナ氏が撮影した。山崎氏は開催に当たり、「私たちが安心して暮らせ

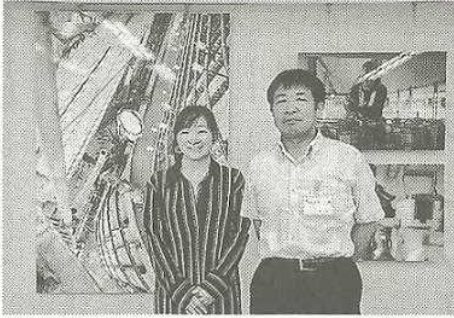
る背景に、多くの人たちが携わっていることを知った」と振り返った。

昨年秋ごろから月1回のペースで現場を訪れ、撮影した2～3000枚の中から展示作品を選んだ。初めて建設工事現場や働く人の様子に焦点を当てて撮影する中で「最初は工事のスケールに驚くばかりだったが、現場の皆さんが鮮やかな連携プレーで作業を進める姿に感動した。ひたむきに施工に取り組む背中に魅

力を感じ、気がついたら人物を中心に撮影していた」とエピソードを語った。阪神淡路大震災を経験していることにも触れ「当時、復旧作業に当たった方々のことを思い浮かべながら、工事完成までのプロセスを勉強させてもらった。作品を通して、一般の人や子どもたちに建設工事やインフラの更新・メンテナンスの大切さを伝えたい」と話した。

森崎社長は「建設工事は何事もなく進むのが当たり前で、普段はなかなか一般の人から注目されにくい」とした上で、「山崎さんが建設業のかっこいい部分と社員らの笑顔をたくさん撮ってくれて感謝している。自分の仕事を紹介しよう」と、家族を連れて来場する社員もいた」と話した。

山崎氏と森崎社長



作品は今後、東京や関西方面を巡回するほか、インフラメンテナンス国民会議などで展示する予定だ。